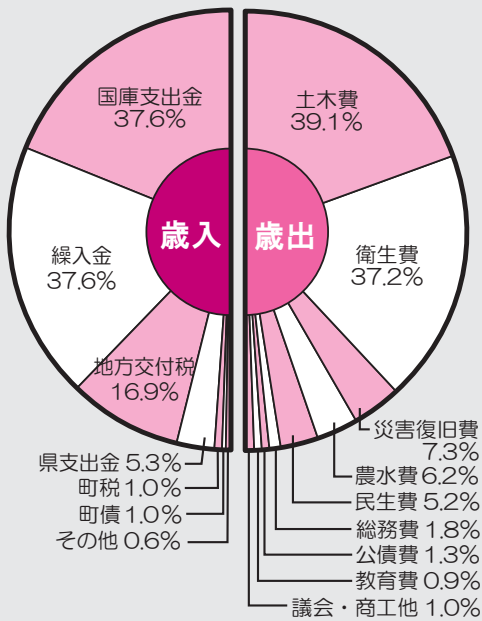


# 平成25年度予算額

◆一般会計 747億8,453万円



## ◆特別会計など

国民健康保険	27億1,682万円
後期高齢者医療	1億3,258万円
介護保険	14億1,306万円
介護保険 (サービス事業勘定)	312万円
簡易水道事業	6,286万円
漁業集落 排水処理事業	1億3,117万円
公共下水道事業	2億3,810万円
水道事業	収益的支出 2億4,473万円 資本的支出 1億4,132万円

## 参考

1世帯当たりの一般会計歳出予算額 (平成25年3月1日現在 6,741世帯)

土木費 (道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	4,333,732円
衛生費 (がれき処理などに使われる経費)	4,132,081円
災害復旧費 (災害復旧のために使われる経費)	808,258円
農林水産業費 (農林水産業の振興に使われる経費)	689,908円
民生費 (福祉の向上のために使われる経費)	577,242円
総務費 (一般事務費などに使われる経費)	203,946円
公債費 (事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	141,014円
その他 (教育費、消防費、議会費、商工費など)	207,800円
合計 (1世帯当たり)	11,093,981円

あった。社会福祉法人でも同じようなことがあったが、当初のチェックの甘さが原因だと思う。改善策を考えているか。

**企画財政課** 平成23年、24年度は非常時で精査が行き届かない面もあった。25年度当初予算では内容を精査するよう指示した。

## デイサービスが足りないのでは

**問** 介護保険でデイサービスをなかなか利用できない人がいるが、町で調整すべきでは。

**国保介護課** 足りないとは認識していない。老人保健施設が完成するまでデイサービスがサポートするよう考えている。

## 水道への繰入本当に必要か

**問** 水道事業に関して水道料金を値上げしてもさらに一般会計から7000万円の繰り入れが必要なのか。上下水道課 7000万円の繰り入れがなければ、予算が足りない恐れがある。水道事業の安定化を考慮している。

## 国民健康保険税減免されるのか

**問** 国民健康保険税は平成25年度は減免されるか。また、利用者負担金の免除はどうなるのか。

**税務課** 平成25年度は国保税の減免はない。

**国保介護課** 利用者負担金の免除は平成25年12月末まで延長する見込みである。

## 増額した理由は

**問** がれき処理費用を増額

した理由と、処理の見込みは。

**建設課** 処理費用の増額は、県への委託料が大きくなったためである。現状は処理量が多く思うように進んでいないが、平成25年度中に完了できない場合は26年度に繰り越す。

## 金属等のがれき売却した金額は

**問** 災害廃棄物は売却したか。

**建設課** 被災車両は売却契約をしたが、確定金額は示されていない。